(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第5007859号
(P5007859)

(45)発行日　平成24年8月22日(2012.8.22)　(24)登録日　平成24年6月8日(2012.6.8)

(51)Int.Cl.			F I		
A41C	3/12	(2006.01)	A41C	3/12	D
A41C	3/10	(2006.01)	A41C	3/10	A
A61F	5/02	(2006.01)	A61F	5/02	D

請求項の数 1　(全 6 頁)

(21)出願番号　特願2007-55624(P2007-55624)
(22)出願日　平成19年3月6日(2007.3.6)
(65)公開番号　特開2008-214813(P2008-214813A)
(43)公開日　平成20年9月18日(2008.9.18)
審査請求日　平成21年11月19日(2009.11.19)

(73)特許権者　000005359
富士紡ホールディングス株式会社
東京都中央区日本橋人形町１丁目１８番１２号
(74)代理人　100068124
弁理士　大野　克躬
(74)代理人　100073117
弁理士　大野　令子
(72)発明者　加藤　優加子
東京都中央区日本橋人形町１－１８－１２　株式会社フジボウアパレル内
(72)発明者　網田　充宏
東京都中央区日本橋人形町１－１８－１２　株式会社フジボウアパレル内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】背筋強化ハーフトップ

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
婦人用衣料である前身頃、脇下布、後身頃背部より構成される上半身を被覆整容するハーフトップにおいて、後身頃背部と接する左右の脇下布上縁から前身頃の袖刳に沿い両肩紐部分から後身頃背部上縁に至る袖刳部分に、所定幅を有し前身頃袖刳の曲線に沿うよう湾曲して形成した長さ方向に伸縮性を有する湾曲部を有する伸縮性テープであって、湾曲部内側の伸縮性糸のタテ糸密度を湾曲部外側タテ糸密度より少なくし、または、湾曲部内側に伸縮性の高い太手糸を使用し、湾曲部外側に伸縮性の低い細手糸を使用することにより、袖刳の曲線に沿うよう湾曲して形成された２本の伸縮性テープを、前記左右の袖刳部分に接合してなるハーフトップ。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、姿勢を正しく保ち頭痛、肩こり等を防止し、背筋強化用ブラジャーとして有効であり、スポーツ時には、そのまま上衣として着用できるハーフトップに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、女性の使用するブラジャーとして、乳房を保持し、胸部を美しく整えるために種々の形状のものが提案されている。また、ハーフトップ下着の形態をしたニット地からなるソフトブラジャーは、着心地が良いことで知られているが、伸縮性はあるものの、胸周

り、袖口等に於けるフィット性に欠ける欠点がある。そこで、ハーフトップ下着を、弾性糸を主体とする筒状編地で編成し、部分的に伸縮性を調整するとともに、アンダーバスト帯を幅広に形成することが提案されている。（特許文献１）

【０００３】

近年、健康志向が高まりウォーキング、エアロビクス等のフィットネス運動の隆盛もあり、ブラジャーにも種々の工夫がなされている。特に、ハーフトップとして、ブラジャーとキャミソールを兼用するようなタイプのハーフトップが好まれるようになった。

しかしながら、従来のブラジャー、もしくはハーフトップは、バストアップや保形、美容上の観点から作製されたものが多く、ウオーキング用ブラジャーは、下着としての機能しかないものが殆どであり、また、体型の保持、矯正の観点から製造されたものは無かった。

【特許文献１】特開２００１－８１６０２号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

本発明は、上述の欠点を克服し、姿勢を正しく保ち頭痛、肩こり等を防止し、背筋強化の効果を有するハーフトップであって、ブラジャー機能を有し、フィットネス時等には、他の衣類を羽織ることなく着用が可能なハーフトップを提供することを目的とする。

即ち、本発明のハーフトップは、着用が極めて簡単であるばかりでなく、窮屈感が無く、自然なバストを形成でき、特に矯正具を着用しているという意識を持たずに背筋を正しく保つよう長時間使用でき、中高年の女性にとっても、姿勢矯正の効果があるブラジャーである。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

本発明は、婦人用衣料である上半身を被覆整容するハーフトップであって、前身頃の脇下より袖刳に沿って前身頃袖刳、肩紐部分から後身頃背部上縁にいたる部分に、所定幅を有する長さ方向に伸縮性を有する伸縮性テープを連続して接合してなるハーフトップである。

伸縮性テープは、袖刳に沿った部分において、袖刳の曲線に沿うよう湾曲して形成する。即ち、湾曲部内側の伸縮性糸のタテ糸密度を湾曲部外側タテ糸密度より少なくし、または、湾曲部内側に伸縮性の高い太手糸を使用し、湾曲部外側に伸縮性の低い細手糸を使用することにより、袖刳の曲線に沿うよう湾曲して形成される。前身頃、後身頃背部としては、縦横両方向に伸縮性のある織地もしくは編地を使用し、前身頃と後身頃背部の間の脇部に、通気性を有するネット地を使用する。

【発明の効果】

【０００６】

本発明のハーフトップは、通常のブラジャーとキャミソールを合わせた機能と外観を有し、脇下を含む袖刳から肩、背部に連続して設けた長さ方向に伸縮性を有する伸縮性テープによって前肩の前屈を防止し、背筋力を高め、姿勢の矯正により美容上の効果と、頭痛、肩こりの解消に寄与する。

【発明を実施するための最良の形態】

【０００７】

本発明のハーフトップを図面によって説明する。

図１は、本発明のハーフトップ正面図、図２は同背面図である。ハーフトップ本体１は、前身頃２、両脇下布３，３、伸縮性テープ６、後身頃背部８とよりなる。脇下布３，３の上部には、袖刳４より肩部５にかけて連続して長さ方向に伸縮性を有する伸縮性テープ６が接合される。前身頃２には縦横両方向に伸縮性のある織地もしくは編地を使用し、両脇下布３としては、通気性を有するネット地を使用することが好ましい。脇下布３も、身頃地と同様に縦横両方向に伸縮性のあるネット地であることがより望ましい。伸縮性テープ６の前身頃２、両脇下布３，３との接合は、縫着、接着の何れであってもよい。前身頃

２は、好ましくは表地、裏地同一又は別異の布地を二重になるように重ね、前身頃２裏側にバストパッド挿入口７を設ける。この挿入口の位置は前身頃脇部、上端等のいずれであってもよい。前身頃２、脇下布３，３、後述の後身頃背部８それぞれの下縁９は、ゴムテープを挿入して縫合する。

【０００８】

図２に示す背面図に示すように、伸縮性テープ６は、後身頃背部８に縫着された脇布３，３の上縁から前身頃袖刳４より肩５を経て、後身頃背部８の上端に接合される。後身頃背部８は、前身頃２と同様の縦横両方向に伸縮性のある織地もしくは編地を使用するが、この部分は、発汗作用と伸縮性テープ６によってこの部分にかかる力の保持、形状の確保とを考慮し、布地の強度に応じて、一重、もしくは二重に構成される。

【０００９】

次に、本発明ハーフトップの構成素材について説明する。前身頃２、後身頃背部８には縦横両方向に伸縮性のある吸水速乾性を有するポリエステル、ポリウレタン地が使用できるが前身頃２，後身頃背部８には、伸縮性テープ６による引き締め効果を高めるため、高い弾性を有する伸縮性地を使用する。長さ方向に伸縮性を有する伸縮性テープ６は、ナイロン、ポリウレタン、ポリエステル糸等とゴム糸を織成して得られるが、本発明のハーフトップの製造にあたっては、伸縮性テープ６を適宜湾曲させることが製品を美しく機能的に仕上げるために重要である。

【００１０】

この伸縮性テープ６を湾曲させる方法としては、図１の湾曲部内側ａ、湾曲部外側ｂの織成において、ａの部分の伸縮性糸のタテ糸密度をｂの部分のタテ糸密度より少なくし、所定部分において、伸縮性テープ６が湾曲するようにする、或は、使用するポリウレタン糸の太さを変え、湾曲部内側ａに伸縮性が高い太手糸を使用し、湾曲部外側ｂには伸縮性の低い細手糸を使用することによって、伸縮性テープ６を湾曲させることもできる。伸縮性テープ６を身体のラインに沿い、余計な浮き上がりや身体皮膚への食い込みを防止するよう構成することで、フィット性を高め、両肩甲骨を引き寄せる効果が生じる。また、ハーフトップの前身頃、後身頃背部、脇布への伸縮性テープの縫着は、千鳥または平二本針で縫い目を平面状に形成することが望ましい。

【００１１】

本発明の特徴は、一本の連続した伸縮性テープ６を、後身頃背部８に縫着された脇布３，３の上縁から前身頃袖刳４より肩５を経て、後身頃背部８の上端に接合することによって、上半身の前屈を防止し、両肩甲骨を引き寄せることによって背筋力を鍛え、姿勢を矯正する効果を生じる構成としたことにある。本発明においては、これらの背筋矯正具としての効果のみでなく、ハーフトップそのものを上衣として使用可能でありファッション性に富み、脇布には通気性素材を使用しているので、運動時には快適に着用できる。

【産業上の利用可能性】

【００１２】

本発明のハーフトップは、特殊な素材、硬化等の手段を必要とせず、縫製によって製造することが出来るので製造が容易であり、しかも、通常のブラジャーとキャミソールとの両者の機能と外観を備え、運動時に使用する他、背筋の矯正のため着用する場合も長時間ブラジャーとして使用できるハーフトップである。

【図面の簡単な説明】

【００１３】

【図１】本発明ハーフトップの正面図

【図２】同背面図

【図３】前身頃肌側部分図

【符号の説明】

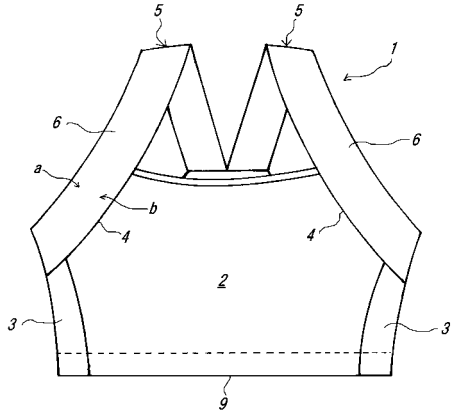
【００１４】

１　ハーフトップ本体

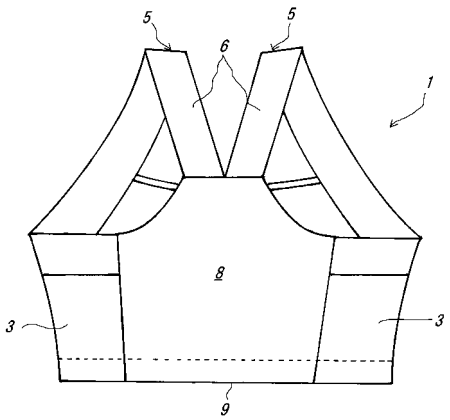
２　前身頃

3　脇下布
4　袖刳
5　肩
6　伸縮性テープ
7　バストパッド挿入口
8　後身頃背部
9　身頃下縁
a　湾曲部内側
b　湾曲部外側

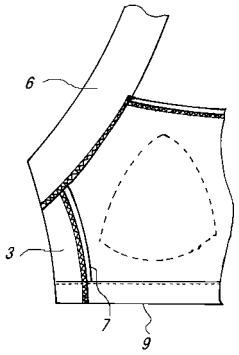
【図１】



【図２】



【図３】



フロントページの続き

(72)発明者　石井　香衣
東京都中央区日本橋人形町１－１８－１２　株式会社フジボウアパレル内

審査官　平岩　正一

(56)参考文献　特開２００５－２４８３９１（ＪＰ，Ａ）
登録実用新案第３１２７１７９（ＪＰ，Ｕ）
特開２００３－０３８５３６（ＪＰ，Ａ）
特開２００１－０８１６０２（ＪＰ，Ａ）
特開２００６－１９３８３３（ＪＰ，Ａ）
特開２００４－０５２１２３（ＪＰ，Ａ）
特開２００５－３０７３９０（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ａ４１Ｃ　　１／００－５／００
Ａ６１Ｆ　　５／０２